

FSERC



Field Science Education and Research Center
Kyoto University



京都大学フィールド科学教育研究センター
森林ステーション

北海道研究林

標茶区
〒088-2339
北海道川上郡標茶町多和 553
TEL : 015-485-2637
FAX : 015-485-4016
E-mail : hokuenji@kais.kyoto-u.ac.jp

白糠区
〒088-0322
北海道白糠郡白糠町西 2 条北 8 - 1 - 10
TEL : 01547-2-5701
FAX : 01547-9-2037
E-mail : aodamo13@muse.ocn.ne.jp

標茶区概況

面積:1,446.8ha 標高:25~149m 北緯:43° 19′ 東経:144° 37′

気温:平均:6.3℃ 年降水量:1,188.7mm(1986~2015年) 人工林率:29%



春の管理棟

【地理・沿革】

標茶区(面積1,446.8ha)は釧路市の北北東約45km、根釧原野のほぼ中央に位置する。旧陸軍省軍馬補充部用地跡に昭和24年(1949年)旧大蔵省からの所管換えを受けて設置された。

【地形・地質・気候】

標高25~149mの間に広がり、準平原状のゆるやかな起伏を示す地形で、地質は第四紀完新世摩周火山灰層Iに属し土壌は黒色火山灰土である。気候は表日本型の内陸性気候を示し、夏季は最高気温が30℃近くまで上昇することもあるが、太平洋岸で発生する海霧が内陸まで押し寄せることが多いことから日照不足になり易い地域である。冬季は阿寒山群によって北西からの湿った大気の流れが遮られ、乾いた季節風となって吹き込むため降雪量は少なく積雪深は30cm程度である。晴天の日が多く、冷え込みが厳しく-30℃近くまで下がることもある。北海道の中でも気候条件の厳しい地域である。

【植生】

天然林の植生は針葉樹を欠きヤチダモ、ミズナラ、ハルニレ、イタヤカエデなどの落葉広葉樹林である。林縁や攪乱地には陽樹であるカンバ類やケヤマハンノキが多く見られる。下層はミヤコザサが高さ1m前後まで密に繁茂し後継樹の更新が妨げられている所があり、林内の立木密度がかなり低く疎林となっている林分が多い。低木類はハシドイ、ネムロブシダマ、エゾニワトコなどが多く、河川沿いの湿地林の林床ではヤチボウズが見られる。また、湿性環境に生育するとされるヤチダモなどが斜面上部や尾根部まで分布しているのも特徴である。

【人工林】

針葉樹林への林種転換を図る目的でカラマツのほかトドマツ、アカエゾマツ、外国産針葉樹などを植栽してきた。人工林約420haのうちカラマツが約200haと最も多い。

【動物】

林内にはエゾシカ、キタキツネ、エゾユキウサギ、エゾヤチネズミ、ヤマゲラなどが生息している。



標茶区9林班



エゾリス

白糠区概況

面積：880.4ha 標高：64～270m 北緯：43° 01′ 東経：143° 57′

気温：平均：7.1℃ 年降水量：1,300.8mm(1986～2015年) 人工林率：14%



白糠区6林班

【地理・沿革】

白糠区(面積 880.4ha)は釧路市の西約 40km、阿寒山群の南端・白糠丘陵東部に位置する。旧陸軍省軍馬補充部用地跡に昭和 25 年(1950 年)旧大蔵省からの所管換えを受けて設置された。



海霧

【地形・地質・気候】

標高 64～270mと標茶区に比べて地形はかなり急峻で、地質は白亜紀および古第三紀に属する砂岩と粘板岩からなる。土壌は褐色森林土で一部に黒色火山灰土もみられる。気候は表日本型だが海岸線に近いため比較的温和である。夏季は最高気温が 30℃近くまで上昇することもあるが、太平洋岸で発生する海霧の影響を受けるため比較的冷涼な気候で日照不足になり易い地域である。冬季は阿寒山群によって北西からの湿った大気の流れが遮られ、乾いた季節風となって吹き込むため降雪量は比較的少なく積雪深は 60cm 程度である。晴天の日が多く、冷え込みは海岸線に近いこともありそれほど厳しくなく、最低気温が-25℃以下になることはまれである。



白糠区5林班

【植生】

天然林の植生は常緑針葉樹のトドマツとミズナラ、シナノキ、ダケカンバなど落葉広葉樹との針広混交林である。林縁や攪乱地にはウダイカンバやケヤマハンノキが多く見られ、立木密度は標茶区に比べてかなり高く、後継樹の更新が良好な林分が多いことが特徴である。低木類はハシドイ、ネムロブシダマ、エゾニワトコなどが多く、エゾシャクナゲも見られる。林床はミヤコザサが優占するがスズタケの群落も点在している。標茶区には分布しないアサダ、シナノキ、アオダモなどがあるため標茶区より樹木の種類はいくらか多く、約 90 種を確認している。



キタキツネ

【人工林】

標茶区の針葉樹林への林種転換の試みと並行して比較試験の目的で、トドマツのほかカラマツ、アカエゾマツ、外国産針葉樹などを植栽してきた。人工林約 125ha のうち自生種でもあるトドマツの造林地が 83ha と最も多い。

【動物】

林内にはエゾシカ、キタキツネ、エゾユキウサギ、エゾヤチネズミ、クマタカ、クマゲラなどが生息しており、ヒグマの痕跡を見ることもある。

研究と教育

標茶区と白糠区は異なる特徴をもつ森林を有し、表裏一体の存在として様々な教育研究を行っている。両区で長期間に渡って蓄積された森林に関する情報は比較分析と検証に供されており、この地域における適正な森林管理手法を導き出す上で重要なものとなっている。

【研究課題】

森林の動態調査や気象観測などの他に酸性降下物モニタリング、樹木フェノロジー観察を行っている。フィールド科学教育研究センターでは2003年よりプロジェクト研究を行っている。また道東に所在する数少ないフィールドであることから本学のほか他大学や他機関の研究者にも森林・林業等の研究の場として利用されている。

【学生実習・教育】

本研究林では、毎年、夏季および冬季に学生実習を実施している。夏季では亜寒帯域における森林植生分布、樹木の識別・分類のほか林分構成に関する調査や森林作業などを、冬季は山スキー技術の習得と冬芽・樹皮による樹木の識別や雪氷調査法などを行っている。また道東に残された貴重な天然林の観察を通じて地元の自然環境を学習する場として、周辺の学校などの利用も増えている。



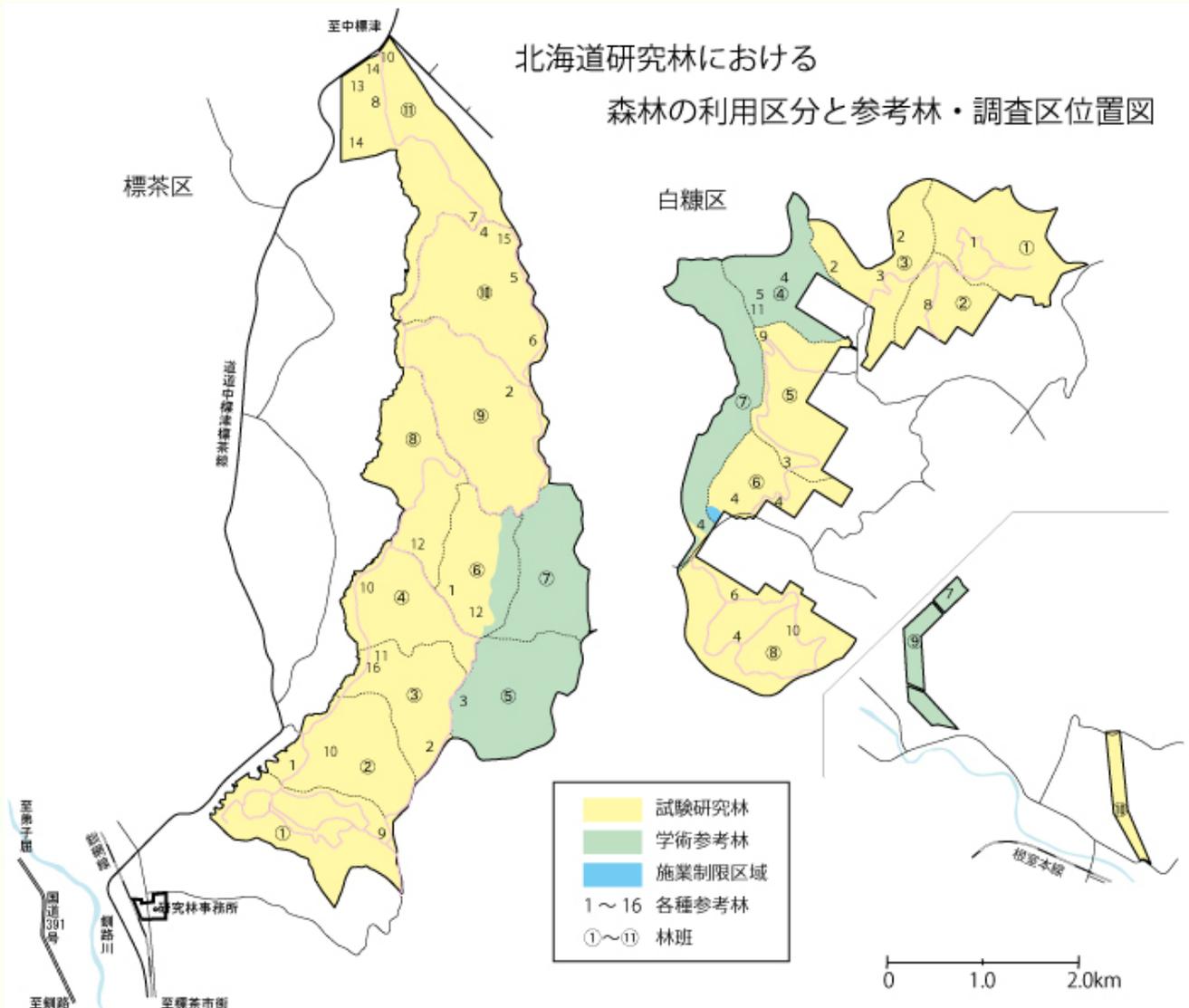
京都大学学生実習



沼幌小学校木工体験教室

各種参考林及び調査区一覧

標茶区 参考林等	設定年	白糠区 参考林等	設定年
1 湿性林	1985	1 大径木択伐後の天然林動態調査区	1991
2 ヤチダモ中径木林の動態調査区	1985	2 トドマツ樹下植栽試験林	1975
3 シウリザクラ保存林	1985	3 天然林動態調査区	1985
4 台地上におけるうっ閉(閉鎖)林	1985	4 天然林蓄積調査区	1976
5 低み地形に展開する林相	1985	5 天然林成長量追跡試験地	1978
6 ヤチダモ小径木と択伐後の樹木動態	1976	6 天然閉鎖林における成長量調査区	1990
7 带状伐区周辺の動態調査区	1989	7 台地上の湿地の天然林	1990
8 ミズナラ・カシワ林	1985	8 カラマツ樹下における樹種別植栽試験林	1989
9 アカエゾマツ産地別試験林	1978	9 クロエゾマツ植栽試験林	1985
10 シカ害防除試験林	1985	10 皆伐跡地における更新試験林	1997
11 カラマツ間伐試験林	1982	11 プロジェクト研究	2003
12 外国産針葉樹の植栽試験林	1967		
13 ヤチダモ・トドマツ・トウヒ密度試験林	1955		
14 カラマツ・ヤチダモ混植試験林	1956		
15 プロジェクト研究	2003		
16 皆伐跡地における更新試験地	2010		



施設と設備

【標茶区】



管理棟



実習用宿舎



標本室



開林橋ゲート付近

森林施業・管理・研究のための路網(林道)は現在整備が完了しており、総延長 29,652m、林道密度は 20.5m/ha である。管理棟は昭和 54 年に建築され棟内には事務室、講義室、実験室、標本室等がある。このほか実習用宿舎があり学生の宿泊に利用されている。

【白糠区】



研究管理棟



気象観測所



宿泊室



3林班ゲート付近

森林施業・管理・研究のための路網(林道)は現在整備が完了しており、総延長 15,419m、林道密度は 17.5m/ha である。研究管理棟は平成元年に建築され、宿泊設備を備えており、学生実習などに利用されている。林内の作業所では気象観測が行われている。

アクセス案内



標茶管理棟

交通

最寄駅から管理棟まで

- JR標茶駅－管理棟(3.3km)
- ・徒歩50分
- ・バス(阿寒バス標津行)多和下車
徒歩3分

公共交通機関を利用

- JR釧路駅－JR標茶駅 約1時間
- JR網走駅－JR標茶駅 約2時間30分

車を利用

- 釧路－標茶 約1時間
- 札幌－標茶 約7時間

各空港から

- 釧路空港から
- ・連絡バス(阿寒バス釧路市内行)
- 釧路駅前下車→JRで標茶駅へ

中標津空港から

- ・バス(根室交通中標津空港線根室行)
- 中標津ターミナル下車→バス(阿寒バス)

白糠研究管理棟

交通

最寄駅から管理棟まで

- JR白糠駅－管理棟(2.3km)
- ・徒歩約30分
- ・バス(くしろバス白糠高校行)幸町下車

公共交通機関を利用

- JR札幌駅－JR白糠駅 約3時間30分
- JR釧路駅－JR白糠駅 約40分

車を利用

- 釧路－白糠 約45分
- 札幌－白糠 約6時間

各空港から

- 釧路空港から
- ・連絡バス(阿寒バス釧路市内行)
- 大楽毛駅前下車→バス(くしろバス白糠高校行)幸町下車